

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年10月分)

平成28年11月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
  - (1) 国家レベル
  - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
  - (1) 国際機関、フォーラム
  - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
  - (1) 経済指標
  - (2) 経済政策、公的事業
  - (3) 支援、援助
  - (4) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ● 地方選挙の実施(2日)

暫定結果によると、地方選挙の投票率はBH全体で53.88%(BH連邦50.61%、RS59.49%、ブルチュコ特別区49.15%)。BH連邦では民主行動党(SDA)と「より良き将来のための連合(SBB)」の連合が、RSでは社会民主主義者連合(SNSD)が最も優勢な政党となった。

ストラツ市では、市長候補と地方選挙管理委員会の間で投票手続について諍いがあり、市長候補が暴行を振るったとの疑いにより、同市における選挙が休止となり、再開の見込みが立たない事態となった。当該事件は、当局

による捜査中。

スレブレニツァ市では、グレイッチ候補(セルビア系)が現職のドゥラコビッチ候補(ボシュニャク系)の優勢に立ったことが報じられた。SDAやドゥラコビッチ候補は、選挙手続に不正があったとして選挙のやり直しを求めたが、BH中央選挙管理委員会や各裁判所はこれらの申立てを棄却。最終結果の確定により、グレイッチ候補の新市長就任が決定した。

#### ● チョービッチHDZ・BiH党首がストラツ市を訪問(8日)

チョービッチ・クロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)党首(BH大統領評議会メンバー)は、ストラツ市を訪問し、2日に実施された同市の地方選挙の際に起こった暴行事件について説

明を受けた。

## (2) エンティティ、特別区

### ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●交通の安全を求める抗議活動(11日)

暴走車両によって女学生2人が亡くなった事故を受け、市民が事故現場となったサラエボ・カントン警察署前で抗議活動を実施。厳正な取り締まりと警察署長の辞任を要求した。

事故の容疑者はセルビアに逃走したところ、現地警察により逮捕された。

#### ●BH連邦議会がIMFによる融資受入れを承認(18日)

BH連邦議会は、BH全体に対する融資の3分の2にあたる7億2,000万KM(約3億6,800万ユーロ)の受入れを承認した。

IMFの拡大信用供与措置(EFF)による第一回の送金は既にBH中央銀行の口座に送金されており、BH連邦議会による承認はこれを追うかたちとなった。

### イ スルプスカ共和国(RS)

#### ●RS国民議会が住民投票に関する報告を採択(11日)

採択は、出席した議員69名(非セルビア系議員らは欠席)による全会一致で行われた。報告によると、住民投票は投票率55.78%、1月9日が「RSの日」であることに賛意を示したのは99.81%で、その結果は有効。同結果はRS官報に掲載される。RS政府には6ヶ月以内に住民投票の結果を履行することが課される。

同決議に対しては、RS民族評議会のボシュニャク系議員らは、これに対して「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権の申立てを行う

意向を示していたが、同決議は、RS民族評議会に審議の時間を与えず、10月12日にRS官報に掲載された。法律上、RS国民議会が審議する全ての文書は、官報掲載前にRS民族評議会による審議を経ることが必要。

#### ●RS国民議会が設立25周年記念会合を実施(24日)

同会合では、複数の人物及び組織に対して表彰を行ったが、その中には、旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)で戦争犯罪により有罪判決を受けたカラジッチ初代RS大統領、プラブシッチ元RS大統領及びクライシュニク初代RS国民議会議長らが含まれ、RS内ボシュニャク代表や市民社会組織から強い批判を受けた。

#### ●RS国民議会が「RSの日に関する法律」を採択(25日)

RS国民議会は、緊急手続により「RSの日に関する法律」案を採択。同法案は、従来通り1月9日を「RSの日」として設定する一方、これを非宗教的な祝日であると規定、詳細はRS政府の決定に従うとした。

同法案は、21日にRS政府が採択した。

## 2. 外政

### (1) 国際機関、フォーラム

#### ●EU理事会がBHに関する決議を採択(17日)

決議において、EU理事会は、単一、結束した主権国としてのBHによるEU加盟への支持を再度表明した。同理事会は、RSにおいて実施された住民投票について、不必要な緊張を生み、法の支配に挑戦するものであり、遺憾

との立場を示した。改革アジェンダの効果的な履行等によるBHのEU加盟プロセスへの取組の継続、特に司法の機能化、腐敗及び組織犯罪の撤廃、急進化及びテロとの戦いへの取組を示すよう要請した。また、EU理事会は、EU特別代表に対して、加盟国がEU部隊の将来的な方針を議論するため、17年秋に戦略計画を提出するよう求めた。

## (2)要人往来、国際会議等

### ●ズビズディッチBH閣僚評議会議長及びペバンダBH財務相のワシントン訪問、ランノイIMF理事やミュラー世界銀行副総裁らと会談(7日)

7日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、IMFによる融資は資金的側面だけではなく、BHの全レベル当局による構造改革を促すため、重要であると述べた。同人は、BH閣僚評議会が趣意書(letter of intent)に記された事項について必要な措置を取ることを伝えた。ペバンダBH財務相は、17年度予算の策定プロセスに入っていることを伝えた。ランノイIMF理事らは、BHによるこれまでの進展を評価した。会合には、ソフティッチBH中央銀行総裁、ノバリッチBH連邦首相、ツビヤノビッチRS首相、ミリチェビッチBH連邦財務相及びテゲルティヤRS財務相らが同席した。

8日、一行はミュラー世界銀行副総裁らと会合を行い、世銀側からは、現状の事業実施状況に対する満足の意が伝えられた。また、BHによるEU加盟候補申請の提出に対する祝意が伝えられた。ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、BHに国外からの投資を呼び込み、同国の競争力を高めるために鋭意取組を行っていることを伝えた。会合では、銀行の改革、中小企業の発展、保健分野及びエネルギー

の効率化事業について協議された。

### ●岸外務副大臣のBH訪問、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長との会談等(8日及び9日)

岸信夫外務副大臣は、日ボスニア・ヘルツェゴビナ外交関係20周年の機にBHを訪問、8日にはイゼトベゴビッチBH大統領評議会議長との会談を実施した。イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長からは、BHがEU及びNATO加盟に向けた取組や、BHの政治経済情勢、域内の投資プロジェクト等について説明があった。岸外務副大臣は、BHのEU加盟に向けた進展を歓迎すると共に、将来的な日本からの対BH投資の拡大への期待を表明し、BHとの友好関係の維持への関心を伝えた。

9日、岸外務副大臣はモスタルにおける平成26年度草の根文化無償資金協力「スポーツ活動を通じた地域融和のためのモスタル市スポーツセンター改修計画」の引渡式に出席。同開会式には、ブルキッチBH外務副大臣や、オシム元サッカー日本代表監督らも出席した。

### ●イバニッチBH大統領評議会メンバーのベオグラード訪問、ブチッチ・セルビア首相との会談(13日)

両名の会談では、BHの政治情勢及び民族間関係が話題となり、ブチッチ・セルビア首相は、域内の安定と善隣関係の維持の重要性を強調し、RS及びBH全土のセルビア系住民のためにも、BHとの最良の関係を希求したいと述べた。イバニッチBH大統領評議会メンバーは、セルビアに逃走した交通事故容疑者の迅速な逮捕への謝意を伝えた。

●イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長のテヘラン訪問、ローハニ・イラン大統領との会談(25日)

両者の会談では、二国間の政治及び経済的関係の強化について協議した。BHにおける投資の機会に関して、ローハニ・イラン大統領は、BHによるイラン国民に対する査証自由化の必要性を指摘した。会談では、対イラン制裁の終了によって更なる対話の機会が得られ、平和と安定、域内情勢の改善につながることへの期待が表明された。両者は、テロ及び過激主義との戦いについても協議し、この点についての協力に同意した。

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長には、シャロビッチBH閣僚評議会副議長(副首相)兼対外貿易・経済関係相及びツルナダクBH外相が同行した。

●プレニコビッチ・クロアチア首相のBH訪問、BH閣僚評議会、BH大統領評議会等との会談(28日及び29日)

プレニコビッチ・クロアチア首相は、就任後初の外遊としてBHを訪問。ズビズディッチBH閣僚評議会議長(首相)に迎えられ、BH閣僚評議会やBH大統領評議会(イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長及びチョービッチBH大統領評議会メンバー)と会談を行った。これらの会談では、BHのEU及びNATO加盟に向けたクロアチアからの支援や、今後のクロアチア外交におけるBHの高い優先度が伝えられた。また、同首相は、BHにおけるクロアチア系の他構成民族との同権に関心を払っていることを表明した。プレニコビッチ・クロアチア首相は、16年中にBH閣僚評議会とクロアチア政府による合同閣議を実施することに言及した。

プレニコビッチ・クロアチア首相は、そのほか、カバゾビッチ・イスラム協会指導者やプリッチ・カトリック教会枢機卿らと会談し、サラエボのほか、キセリャク及びモスタルを訪問した。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年8月のBH全体の雇用者数は727,255人。同月の失業者数は520,565人で失業率は41.7%(前月比0.1%増)となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年9月のBHにおける平均給与は837KM(約428ユーロ)となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年10月の消費者物価指数は平均で前月比0.8%の増加。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から9月のBHの輸出額は68億6,194万KM(約35億845万ユーロ)、輸入額は118億1,323万KM(約60億4,000万ユーロ)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から9月):①ドイツ(11億1,812万KM/約5億7,169万ユーロ)、②イタリア(8億3,146万KM/約4億2,512万ユーロ)、③クロアチア(7億2,247万KM/約3億6,939万ユーロ)、④セルビア(5億7,340万KM/約2億9,317万ユーロ)、⑤オーストリア(5億5,0

52万KM/約2億8,148万ユーロ) 参考:  
日本(98万2,000KM/約50万2,000ユーロ)

・輸入相手国上位5ヵ国(貿易額、16年1月から9月):①ドイツ(14億7,417万KM/約7億5,373万ユーロ)、②イタリア(13億7,433万KM/約7億268万ユーロ)、③セルビア(13億3,745万KM/約6億8,383万ユーロ)、④クロアチア(11億7,029万KM/約5億9,836万ユーロ)、⑤中国(8億1,071万KM/約4億1,451万ユーロ) 参考:日本(6,597万KM/約3,373万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

#### ●観光客数

BH統計局の発表によると、16年8月、BHにはのべ140,867人(うち日本からは308人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

## (2)経済政策、公的事業

### ●BH閣僚評議会がBHの公的債務に関する報告書を受理(4日)

BH財務省によると、16年6月30日時点のBHの公的債務は総額約119億KM(約60億8,400万ユーロ)で、前年同時期と比較して1,955万KM(約1,000万ユーロ)減となった。GDP比では39.4%。同債務総額のうち、BH連邦が54.76%、RSが44.57%、ブルチュコ特別区が0.21%、BH国家機関が0.46%を占める。また、このうち国内からの債務は約35億6,000万KM(約18億2,000万ユーロ)。

### ●BH下院が石油及び石油製品に対する消費税引き上げを否決(19日)

BH下院は、BH閣僚評議会によって提出された、石油及び石油製品にかかる消費税引き上げを行うための消費税に関する法律改正案を否決した。

BH閣僚評議会によると、引上げによる税収増は、高速道路の建設に利用される予定だった。

### ●ロシア検疫当局がBHからの果物・野菜の輸入を再開(23日)

RS当局は、ロシア検疫局から、BHからの果物・野菜の輸入禁止を解除する旨通報があったと発表した。この決定に先立ち、BH対外貿易経済関係省と、ロシア連邦動植物検疫機関の間で検疫基準に関する議定書が署名されている。

### ●BH連邦民営化庁が、ゼニツァ製鋼所資産の入札による売却を公告(23日)

ゼニツァ製鋼所は株式の過半数を政府が保持。売却対象の資産は事務棟2棟と溶鉱炉1基で、それぞれ820万KM(約419万ユーロ)と300万KM(約153万ユーロ)が最低応札価格となる。

16年9月、BH連邦民営化庁は、ゼニツァ製鋼所の民営化を承認したことを発表した。

### ●EU及び欧州復興開発銀行(EBRD)が、BHの中小企業支援を発表(31日)

「中小企業競争力支援ファシリティ」によるBH中小企業への融資総額は2,000万ユーロに達し、地元銀行を通じて提供される。

## (3)支援、援助

### ●日本が次世代車両120台をBH内の社会福祉施設に供与するノン・プロジェクト無償資

金協力の引渡式(28日)

プロジェクト規模は総額5億円で、BH連邦、スルプスカ共和国(RS)及びブルチュコ特別区内の計120カ所の社会福祉施設に対して、日本製のクリーンディーゼル車40台及びハイブリッド車80台を供与するもの。今回の引渡式ではグリーンディーゼル車40台がBH側に引き渡された。供与された車両は、社会福祉施設のサービス向上のために用いられる。

**(4)民間企業**

● 日本企業のビジネス視察ミッションによるBH訪問(6日及び7日)

日本として初となるビジネス視察ミッションは、日本貿易振興機構(JETRO)ウィーン事務所が企画し、BH対外貿易会議所及びBH外国投資促進庁(FIPA)の協力によって実現し、日本企業13社が参加した。今回の訪問では、ビジネス及び投資環境に関するセミナーの開催、現地有力企業への訪問、現地企業及び外資企業との交流が行われた。

(了)